

科目名	対象学年	対象クラス	単位数	分類	予定時数
日本史探究演習	3	A B C E F	4	必修選択	140 時間

教科担当・教材等	
授業担当者名	
教科書	詳説日本史(山川出版)
使用教材等	日本史重要語句 Check List【新課程版】(2024)(啓隆社)、新日本史要点ノート(応用編)【新課程版】(啓隆社)、新詳日本史 史料の基礎210選付(浜島書店)ゼミナール日本史(浜島書店)

科目の目標	
学習目標	【知識及び技能】 日本の歴史の展開に関わる諸事象について、東アジアを中心とした地理的条件や地域の歴史と関連付けながら理解するとともに、諸資料から日本の歴史に関する様々な情報を調べ、まとめる能力を身に付ける。 【思考力、判断力、表現力等】 日本の歴史の展開に関わる事象を、年代、比較、現在とのつながりなどに着目して多面的に考察したり、説明したり、議論したりする活動を通して、歴史を理解する力を養う。 【学びに向かう力、人間性等】 課題解決に向けて探究しようとする意欲を養い、日本および他国の歴史・文化を尊重する学びの姿勢を確立する。

年間授業計画			
学期	単元・単元の具体的な指導目標	指導項目・内容	評価基準
1	近世から近代へ 【知】国際環境の変化に着目して、日本の開国と開国後の政治情勢・社会・経済の変化を、列強の動向と関連させて理解する。 【思】開国と幕末の動乱・幕府の滅亡と新政府の発足について考察し、説明・表現する力を養う。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究する力を養う。	・開国と幕末の動乱 ・幕府の滅亡と新政府の発足 ・明治維新と富国強兵 ・立憲国家の成立 ・日清・日露戦争と国際関係 ・第一次世界大戦と日本 ・ワシントン体制	近世から近代へ 【知】国際環境の変化に着目して、日本の開国と開国後の政治情勢・社会・経済の変化を、列強の動向と関連させて理解している。 【思】開国と幕末の動乱・幕府の滅亡と新政府の発足について考察し、説明・表現することができる。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究した結果をまとめて発表することができる。
	近代国家の成立・近代国家の展開 【知】明治政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策の流れと、近代国家成立の過程、国際環境の変化による日清・日露戦争、第一次世界大戦と大戦後の国際協調・軍縮の時代の展開を理解する。 【思】明治維新と富国強兵・立憲国家の成立・日清・日露戦争と国際関係・第一次世界大戦と日本・ワシントン体制について考察し、説明・表現する力を養う。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究する力を養う。		近代国家の成立・近代国家の展開 【知】明治政府の制度改革や富国強兵・殖産興業政策の流れと、近代国家成立の過程、国際環境の変化による日清・日露戦争、第一次世界大戦と大戦後の国際協調・軍縮の時代の展開を理解している。 【思】明治維新と富国強兵・立憲国家の成立・日清・日露戦争と国際関係・第一次世界大戦と日本・ワシントン体制について考察し、説明・表現することができる。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究した結果をまとめて発表することができる。
2	近代の産業と生活 【知】近代産業発展の過程および日本の伝統文化と欧米の文化の二元性のなかで近代文化の発展あったことを理解し、産業構造の変化により文化の担い手もまた変化していった点を把握する。 【思】近代産業の発展・近代文化の発達・市民生活の変容と大衆文化について考察し、説明・表現する力を養う。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究する力を養う。	近代の産業と生活 ・近代産業の発展 ・近代文化の発達 ・市民生活の変容と大衆文化	近代の産業と生活 【知】近代産業発展の過程および日本の伝統文化と欧米の文化の二元性のなかで近代文化の発展あったことを理解している。産業構造の変化により文化の担い手もまた変化していった点を理解している。 【思】近代産業の発展・近代文化の発達・市民生活の変容と大衆文化について考察し、説明・表現することができる。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究した結果をまとめて発表することができる。
	恐慌と第二次世界大戦 【知】戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺を国内・国外の情勢と関連付けて把握し、日本の対外政策の推移、軍部の台頭と国際的な孤立の過程を理解する。 【思】恐慌の時代・軍部の台頭・第二次世界大戦について考察し、説明・表現する力を養う。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究する力を養う。	恐慌と第二次世界大戦 ・恐慌の時代 ・軍部の台頭 ・第二次世界大戦	恐慌と第二次世界大戦 【知】戦後恐慌から昭和恐慌に至る国内経済の動揺を国内・国外の情勢と関連付けて把握し、日本の対外政策の推移、軍部の台頭と国際的な孤立の過程を理解している。 【思】恐慌の時代・軍部の台頭・第二次世界大戦について考察し、説明・表現することができる。 【態】学習した内容に関連付けた問いをたて、問いの答えを追究した結果をまとめて発表することができる。
3	大学入試問題演習 【知】志望する大学を中心とする入試問題の演習を通して、2年次・3年次での学習事項の点検を行い、ヌケ・モレを補強する。 【思】論述問題への解答を通して、学んできた歴史事項を関連付けながら説明する力を養う。 【態】レベルの高い問題に挑戦しながら、発展的な学習内容を積極的に身につけていく態度を養う。	大学入試問題演習	大学入試問題演習 【知】今までの学習事項の点検を行い、ヌケ・モレをリストアップし、反復して身につけようとしている。 【思】様々な解答例を積極的に理解し、自らの解答のレベルを上げていくことができる。 【態】自己の学力の現状と課題を把握し、レベルアップのための方法を考えて実践し、努力を継続する。

※生徒の理解度や担当者の工夫により進度が変わるため、必ずしも計画どおりに展開するものではありません。